

153	款・項・目	8・1・1	目名称	土木総務費		目の決算額	127,960,170		153
	事務事業名称	財産取得事業							
	事業コスト(千円)	9,985	【うち人件費 9,447 うち減価償却費 409 】						
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）								
	道路								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 機能が拡充されています。								
評価指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	寄附採納				14	／	10	件	
	用地買収				2	／	15	件	
						／			
実施内容	1 狭あい道路等の解消 道幅の狭い生活道路の拡幅及び隅切り用地を確保することで、緊急車両等の通行が円滑にできるよう、良好な住環境の改善に努めました。 ※狭あい道路整備制度を活用（H27年度より）								
	2 道路用地の取得 市道等の拡幅整備に伴い、道路用地を地権者からの寄附又は買収により取得しました。取得後は市に所有権を移し、適正な管理を行いました。								
	3 道路内民地の解消 道路内に存在する個人名義の土地を、寄附又は買収により取得しました。取得後は市に所有権を移し、適正な管理を行いました。								
	寄附採納								
	年度	件数	筆数	面積（㎡）	うち狭あい道路用地				
					件数	筆数	面積（㎡）		
	R4	17	24	705.19	7	13	250.90		
	R5	13	21	1,110.26	2	3	20.37		
	R6	14	20	1,799.83	2	5	1.79		
	用地買収								
	年度	件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）	うち狭あい道路用地			
						件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）
	R4	4	8	115.37	7,587,092	3	7	102.24	7,485,991
	R5	4	6	51.82	3,380,869	2	4	44.80	3,112,900
	R6	2	2	29.88	2,134,296	2	2	29.88	2,134,296
事業の評価	妥当性評価	道路法により市が管理することが定められているため、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	土地所有者の理解協力により、狭あい道路の解消を促進することができました。							
	効率性評価	狭あい道路の申出及び寄附採納願を受理した際には、迅速に処理を行い、交付金を最大限に活用し効率的な道路用地の取得ができました。							
事業費	2,161,439			左の財源内訳					
				国県支出金	地方債	その他	一般財源		
				1,067,000	0	1,067,296 (基金1,067,296)	27,143		

154	款・項・目	8・1・1	目名称	土木総務費		目の決算額	127,960,170		154																																			
	事務事業名称	財産管理事業																																										
	事業コスト(千円)	817,364【うち人件費 40,323 うち減価償却費 743,363 】																																										
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）																																											
	道路及び水路																																											
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 良好な状態が保たれています。																																											
評価指標	指標名					令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位																																			
	道路占用・使用許可、承認工事					875	／	970	件																																			
	道水路境界立会					244	／	300	件																																			
	廃道・水路の払下げ及び付替え					4	／	10	件																																			
実施内容	1 道路占用連絡協議会 道路占用連絡協議会を2回開催し、工事期間等の調整を行うことで道路工事の効率化を図りました。																																											
	2 道路占用・使用許可（道路法や条例に基づき適正に新規許可、更新事務を行いました。）																																											
	3 承認工事の審査承認（工事の設計、計画について審査承認を行いました。）																																											
	4 道路台帳の整備（道路台帳の加除、更新を行いました。）																																											
	5 道水路境界立会い（現地立会いを行い円滑に境界確定事務を進めました。）																																											
	6 廃道・水路の払下げ及び付替え（廃道・水路の払下げ及び付替え事務を行いました。）																																											
	7 車両制限令審査（制限値を超える車両通行の可否を審査しました。）																																											
	8 街区基準点の管理（測量に使用する街区基準点を適正に維持管理しました。）																																											
	9 地籍整備の促進（資料収集・調査等を行い、地籍整備の促進を図りました。）																																											
	各項目の実績																																											
	<table><tr><th colspan="2">実 施 項 目</th><th>R4</th><th>R5</th><th>R6</th></tr><tr><td>2</td><td>道路占用・使用許可件数</td><td>813</td><td>885</td><td>780</td></tr><tr><td>3</td><td>承認工事許可件数</td><td>112</td><td>115</td><td>95</td></tr><tr><td colspan="2">小 計</td><td>925</td><td>1,000</td><td>875</td></tr><tr><td>4</td><td>道路台帳の加除、更新件数</td><td>48</td><td>48</td><td>50</td></tr><tr><td>5</td><td>道水路境界立会い件数</td><td>288</td><td>257</td><td>244</td></tr><tr><td>7</td><td>車両制限令審査件数</td><td>172</td><td>211</td><td>240</td></tr></table>									実 施 項 目		R4	R5	R6	2	道路占用・使用許可件数	813	885	780	3	承認工事許可件数	112	115	95	小 計		925	1,000	875	4	道路台帳の加除、更新件数	48	48	50	5	道水路境界立会い件数	288	257	244	7	車両制限令審査件数	172	211	240
	実 施 項 目		R4	R5	R6																																							
	2	道路占用・使用許可件数	813	885	780																																							
	3	承認工事許可件数	112	115	95																																							
小 計		925	1,000	875																																								
4	道路台帳の加除、更新件数	48	48	50																																								
5	道水路境界立会い件数	288	257	244																																								
7	車両制限令審査件数	172	211	240																																								
廃道・水路払下げ件数																																												
<table><tr><th>年度</th><th>件数</th><th>筆数</th><th>面積（㎡）</th><th>金額（円）</th></tr><tr><td>R4</td><td>15</td><td>28</td><td>2,651.06</td><td>54,668,804</td></tr><tr><td>R5</td><td>12</td><td>26</td><td>1,975.79</td><td>25,374,121</td></tr><tr><td>R6</td><td>4</td><td>6</td><td>456.69</td><td>7,618,081</td></tr></table>									年度	件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）	R4	15	28	2,651.06	54,668,804	R5	12	26	1,975.79	25,374,121	R6	4	6	456.69	7,618,081																
年度	件数	筆数	面積（㎡）	金額（円）																																								
R4	15	28	2,651.06	54,668,804																																								
R5	12	26	1,975.79	25,374,121																																								
R6	4	6	456.69	7,618,081																																								
事業の評価	妥当性評価	道路法により市が管理することが定められているため、市で実施すべき事業です。																																										
	有効性評価	地籍調査の地元説明会を通して、地籍整備を促進しました。																																										
	効率性評価	道路占用連絡協議会を開催し、占用者間での情報共有及び円滑な迂回路の調整を図りました。																																										
事業費	24,360,004		左の財源内訳																																									
			国県支出金	地方債	その他	一般財源																																						
			2,961,000	0	0	21,399,004																																						

155	款・項・目	8・2・2	目名称	道路維持費		目の決算額	477,918,263		155
	事務事業名称	道路維持事業							
	事業コスト(千円)	432,015		【うち人件費 28,329		うち減価償却費 161,514		】	
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）								
	道路、側溝、雨水管、排水ポンプ等								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
	機能が維持されています。								
評価指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	要望等処理件数				2,138	／	2,000	件	
	舗装修繕面積				6,251	／	3,000	㎡	
	側溝改修延長				804	／	1,000	m	
実施内容	1 修繕								
	道路パトロールや市民通報などにより把握した道路などの破損箇所について迅速に対応し、適正な維持管理を行いました。								
	対応件数								
			R4	R5	R6				
	作業員対応	道路補修	422	204	567				
		舗装修繕	167	408	225				
		草刈作業	156	348	158				
		浚渫作業	258	420	331				
	小計		1,003	1,380	1,281				
	業者対応	道路補修	280	248	246				
		舗装修繕	99	142	153				
		草刈作業	48	44	54				
		浚渫作業	57	70	60				
	小計		484	504	513				
	合計		1,487	1,884	1,794				
	市民からの要望等件数		1,199	1,385	1,370				
	2 委託								
道路の草刈、側溝浚渫、地下道の路面清掃、駅エレベーターの清掃と保守点検を行い、適正な維持管理を行いました。また、橋梁の点検を行いました。									
(1) 草刈 及び (2) 側溝浚渫の対応件数									
		R4	R5	R6					
定期的草刈委託(入札)		308	322	327					
暗渠等浚渫委託(単契)		15	19	17					
合計		323	341	344					
事業の評価	妥当性評価	市民が安全に通行できる道路を確保するため、市道の維持管理は市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	迅速な道路の修繕に取り組み、安全かつ快適な道路環境の維持を図るとともに市民の要望に応えることができました。							
	効率性評価	道路支障の早期発見のため、市公式ウェブサイト等を通して情報提供を呼びかけ、迅速な修繕を行いました。							
事業費	477,918,263		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			44,800,000	0	89,237,404 (基金39,057,704)	343,880,859			

155	款・項・目	8・2・2	目名称	道路維持費	155
	事務事業名称	道路維持事業			
	事業コスト(千円)				

実施 内容	(3) 施設維持管理			
	ア	地下道などの清掃	(柵山、清蔵、堀越の各地下道、大府駅、共和駅)	
	イ	地下道ポンプ保守	(柵山、清蔵、堀越の各地下道)	
	ウ	地下道電気保守	(柵山地下道)	
	エ	駅エレベーター保守	(大府駅、共和駅)	
	オ	駅エレベーター警備	(大府駅、共和駅)	
	(4) 調査測量設計			
	ア	路面性状調査委託 (市内一円)		
	イ	柵山地下道補修設計委託 (中央町)		
	3 工事			
	舗装修繕工事や側溝改修工事を行い、市民が安全に通行出来るよう適正な維持管理を行いました。			
	(1) 舗装修繕工事			
	ア	市道長根北崎線	(横根町：舗装 1,291㎡)	(R5年度から繰越し)
	イ	市道大府共和線	(柵山町：舗装 823㎡)	(R5年度から繰越し)
	ウ	市道2159号線	(森岡町：舗装 510㎡)	
	エ	未認定道路	(横根町：舗装 125㎡)	
	オ	市道1255号線ほか1路線	(共和町：舗装 922㎡)	
	カ	市道井田辰池線	(神田町：舗装 517㎡)	
	キ	市道三ツ屋上敷線	(共栄町：舗装 324㎡)	
			合計	舗装 4,512㎡
	(2) 側溝改良工事			
	ア	市道4199号線	(桃山町：側溝294m 舗装 440㎡)	(R5年度から繰越し)
	イ	未認定道路	(中央町：側溝 29m 舗装 102㎡)	
ウ	市道6043号線	(神田町：側溝174m 舗装 324㎡)		
エ	市道3020号線	(吉川町：側溝101m 舗装 277㎡)		
オ	市道2083号線	(長草町：側溝 80m 舗装 115㎡)		
カ	市道4133号線	(東新町：側溝 46m 舗装 20㎡)		
キ	市道2129号線	(月見町：側溝 80m 舗装 77㎡)		
		合計	側溝804m 舗装1,355㎡	
(3) 雨水管老朽化に伴う改修工事				
	市道4217号線	(桃山町：舗装384㎡、雨水管77m)		
(4) 橋梁補修工事				
	市道山口半月線 (上荒田橋)	(森岡町：ひび割れ補修工 1式ほか)		

156	款・項・目	8・2・3	目名称	道路新設改良費		目の決算額	408,789,648		156
	事務事業名称	補助幹線道路改良事業							
	事業コスト(千円)	69,844		【うち人件費 17,722		うち減価償却費 46,671		】	
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	幹線道路との接続道路及び地域の交通量の多い道路（補助幹線道路）								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
	既存道路の拡幅、歩道設置、道路の整備が進み、安全で良好な道路のネットワークが構築されています。								
評価 指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	補助幹線道路の改良済延長の割合				36.5	／	43.3	%	
	歩道整備延長				193	／	95	m	
						／			
実施 内容	1 市道共和駅東線（共和変電所～県道泉田共和線） 物件調査、用地買収及び物件補償を実施しました。 用地買収 1筆 74.83㎡、物件補償 2件 歩道設置工事（延長49m）を実施しました。（R5年度繰越分）								
	2 市道4178号線（鴨池周辺） 道路改良工事（延長139m、歩道延長95m）を実施しました。								
	3 梶田町三丁目交差点 物件調査、用地買収、物件補償及び交差点改良工事を実施しました。 用地買収 3筆 847.21㎡、物件補償 2件								
	4 国道155号関連迂回路対策事業（吉川町） 予備設計、現地測量、路線測量を実施しました。								
	5 市道名高山線（二ツ池南交差点周辺） 用地買収を実施しました。 用地買収 2筆 217.88㎡								
	6 大府西連結路関連市道付替事業（公共補償） 知多半島道路と伊勢湾岸自動車道を連結する大府西連結路の整備に伴う付替市道の用地買収を実施しました。 用地買収 7筆 472.08㎡								
事業の 評価	妥当性評価	市民が安心・安全に道路を利用することができる道路ネットワークの整備は、市民生活の基盤となるため、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	補助幹線道路の整備により、道路網が構築され、スムーズな移動が可能となりました。また、歩道整備により、歩行者の安心・安全を確保することができました。							
	効率性評価	国の交付金及び県の補助金を有効的に活用することや、県事業と連携して整備を進めることにより、効率的な整備促進を図ることができました。							
事業費	408,789,648		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			55,859,100	162,300,000	59,635,930	130,994,618			

157	款・項・目	8・3・2	目名称	河川維持費		目の決算額	180,968,712	157
	事務事業名称	河川維持事業						
	事業コスト(千円)	58,352	【うち人件費 6,955 うち減価償却費 2,551 】					
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）							
	河川施設等							
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 草刈・浚渫等の管理が行き届き、排水機能及び環境美化が維持されています。							
評価指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位
	河川の草刈面積（単年度）				84,785	／	82,040	m ²
						／		
						／		
実施内容	河川の草刈りや施設等の修繕を実施することにより、良好な維持管理及び環境美化を図りました。							
	1 河川等の草刈（東工区、西工区ほか）							
	年度		草刈委託（定期）		単価契約（緊急）		合計面積	
		件数	面積	件数	面積			
	R4	15か所	82,178m ²	3か所	394m ²	82,572m ²		
	R5	15か所	82,868m ²	3か所	743m ²	83,611m ²		
	R6	17か所	81,640m ²	9か所	3,145m ²	84,785m ²		
	2 河川施設等の維持管理							
	(1) 修繕・浚渫等の件数							
	年度	修繕		浚渫, 伐採等(単価契約)				
	R4	6件		11件				
	R5	3件		8件				
	R6	2件		13件				
	河川維持管理委託							
	河川伐採委託		延命寺川			伐採工 82本		
	河川浚渫委託		延命寺川・大高川			浚渫工 110m ³		
	河川景観改良委託		矢戸川			浚渫工 202m ³		
	(2) 苦情要望等の件数							
	年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他			
	R4	68件	0件	41件	27件			
	R5	62件	1件	28件	33件			
	R6	61件	3件	39件	19件			
	3 河川水位監視システムの維持管理							
	(1) 河川水位監視システム点検 水位計(8台)：年1回 河川監視カメラ(3台)：年1回							
	(2) 河川水位監視システムデータ表示改修委託 県河川水位情報3か所を追加しました。							
	4 洪水ハザードマップ更新業務委託 関係各課と連携し、洪水ハザードマップを更新しました。							
事業の評価	妥当性評価	治水機能の維持と環境の保持を図るため、河川施設等を適正に管理することが必要であり、市が主体で実施すべき事業です。						
	有効性評価	苦情要望が多い中、治水機能の維持と環境保持を図るため、必要性や緊急性を判断して、適切な作業を実施することができました。						
	効率性評価	積極的な現地確認により、適切な工法を選定して作業を実施できました。また、職員による定期的な点検や維持管理作業を行い、コスト縮減を図ることができました。						
事業費	49,169,433		左の財源内訳					
			国県支出金	地方債	その他	一般財源		
			2,000,000	0	0	47,169,433		

158	款・項・目	8・3・2	目名称	河川維持費		目の決算額	180,968,712		158																				
	事務事業名称	水路等維持事業																											
	事業コスト(千円)	86,172	【うち人件費 9,899		うち減価償却費 2,573		】																						
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）																												
	水路施設等																												
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 草刈・浚渫等の管理が行き届き、排水機能及び環境美化が維持されています。																												
評価指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位																					
	水路等の草刈面積（単年度）				13,300	／	13,565	㎡																					
	水路等の防草対策面積（単年度）				395	／	500	㎡																					
						／																							
実施内容	水路、調整池、排水機場等の適切な管理を実施することで、良好な機能保全及び環境美化を図りました。																												
	1 水路等の草刈																												
	1回目3,500㎡ 2回目9,800㎡ 合計13,300㎡																												
	2 水路、調整池等の維持管理																												
	(1) 修繕・浚渫等の件数																												
	R6:修繕25件、浚渫・草刈・伐採等（単価契約）37件																												
	(2) 苦情要望等の件数																												
	<table><tr><td>年度</td><td>合計</td><td>浚渫</td><td>草刈伐採</td><td>その他</td></tr><tr><td>R4</td><td>231件</td><td>36件</td><td>110件</td><td>85件</td></tr><tr><td>R5</td><td>233件</td><td>34件</td><td>111件</td><td>88件</td></tr><tr><td>R6</td><td>148件</td><td>18件</td><td>85件</td><td>45件</td></tr></table>					年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他	R4	231件	36件	110件	85件	R5	233件	34件	111件	88件	R6	148件	18件	85件	45件				
	年度	合計	浚渫	草刈伐採	その他																								
	R4	231件	36件	110件	85件																								
	R5	233件	34件	111件	88件																								
	R6	148件	18件	85件	45件																								
	(3) 水路等維持管理委託、工事																												
	ア 水路伐採委託 米田水路 伐採 25本、除草 135㎡、竹伐採 20m																												
	イ 水路浚渫委託 荒池長草線地下貯留槽 浚渫 36㎡																												
	ウ 調整池浚渫委託 羽山3号調整池 浚渫 200㎡																												
	エ 沈砂池浚渫委託 上徳・荒池沈砂池 浚渫 98㎡																												
オ 水路維持管理工事 五ツ屋水路等 防草対策工 395㎡																													
カ 水路改修工事 砂原水路 底打ちコンクリート打設（単独土地改良事業） L=308.9m 矢戸水路 U450布設 L=37.5m																													
3 排水機場の工事																													
ア 五ヶ村川第3排水機場 自家用発電機等オーバーホール（土地改良施設維持管理適正化事業）																													
イ 島田排水機場 屋根防水（R7へ繰越し）																													
ウ 横根川排水機場 空気圧縮機器の交換（R5から繰越し）																													
4 耐震・漏水診断委託																													
トチネ池堤体の耐震及び漏水診断を行いました。																													
事業の評価	妥当性評価	治水機能の維持と環境保全を図るため、水路、調整池、治水ため池及び排水機場を適正に管理することが必要であり、市が主体で実施すべき事業です。																											
	有効性評価	苦情要望が多い中、治水機能の維持と環境保全を図るため、必要性や緊急性を判断して、適切な作業を実施することができました。																											
	効率性評価	積極的な現地確認により、適切な工法を選定して作業を実施できました。また、職員による定期的な点検や維持管理作業を行い、コスト縮減を図ることができました。																											
事業費	131,799,279		左の財源内訳																										
			国県支出金	地方債	その他	一般財源																							
			22,958,000	0	20,730,825	88,110,454																							

159	款・項・目	8・3・3	目名称	河川改修費		目の決算額	6,981,421		159																
	事務事業名称	総合排水計画事業																							
	事業コスト(千円)	3,062	【うち人件費 3,097 うち減価償却費 129 】																						
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）																								
	雨水貯留施設																								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 雨水が貯留され、河川への流出が抑制されています。																								
評価 指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位																	
	雨水流出抑制対策済量				226,442	／	184,234	m³																	
						／																			
						／																			
実施 内容	1 大府市総合排水事業促進会議 大府市総合排水計画の円滑な推進を図るため、関係各課と事業調整等を行いました。（1回開催）																								
	2 特定都市河川浸水被害対策法（河川新法） (1) 特定都市河川浸水被害対策法のもと愛知県及び流域12市町で総合治水を進めました。 (2) 雨水浸透阻害行為許可申請事務を行いました。（書類受付、開発者の指導、完了検査立会い）																								
	3 雨水貯留施設の整備 (1) 令和6年度 市で実施した雨水貯留浸透対策の実績																								
	<table><tr><td>種別</td><td>目標</td><td>実績</td><td>備考</td></tr><tr><td>各戸貯留</td><td>29m³</td><td>0m³</td><td>雨水貯留浸透施設設置補助</td></tr><tr><td>透水性舗装</td><td>15m³</td><td>5m³</td><td>県道横根大府線、市道共和駅東線</td></tr><tr><td>合計</td><td>44m³</td><td>5m³</td><td></td></tr></table>									種別	目標	実績	備考	各戸貯留	29m³	0m³	雨水貯留浸透施設設置補助	透水性舗装	15m³	5m³	県道横根大府線、市道共和駅東線	合計	44m³	5m³	
	種別	目標	実績	備考																					
	各戸貯留	29m³	0m³	雨水貯留浸透施設設置補助																					
	透水性舗装	15m³	5m³	県道横根大府線、市道共和駅東線																					
	合計	44m³	5m³																						
	(2) 民間で実施した雨水貯留浸透対策の実績（河川新法ほか）																								
	<table><tr><td></td><td>完了件数</td><td>対策量</td></tr><tr><td>R4</td><td>32件</td><td>2,891m³</td></tr><tr><td>R5</td><td>39件</td><td>25,208m³</td></tr><tr><td>R6</td><td>43件</td><td>8,274m³</td></tr></table>										完了件数	対策量	R4	32件	2,891m³	R5	39件	25,208m³	R6	43件	8,274m³				
	完了件数	対策量																							
R4	32件	2,891m³																							
R5	39件	25,208m³																							
R6	43件	8,274m³																							
(3) 年度別の雨水流出抑制対策済量																									
<table><tr><td></td><td>市</td><td>民間</td><td>累計(市＋民間)</td></tr><tr><td>R4</td><td>2,886m³</td><td>2,891m³</td><td>192,578m³</td></tr><tr><td>R5</td><td>377m³</td><td>25,208m³</td><td>218,163m³</td></tr><tr><td>R6</td><td>5m³</td><td>8,274m³</td><td>226,442m³</td></tr></table>										市	民間	累計(市＋民間)	R4	2,886m³	2,891m³	192,578m³	R5	377m³	25,208m³	218,163m³	R6	5m³	8,274m³	226,442m³	
	市	民間	累計(市＋民間)																						
R4	2,886m³	2,891m³	192,578m³																						
R5	377m³	25,208m³	218,163m³																						
R6	5m³	8,274m³	226,442m³																						
4 総合治水の市民への周知 広報掲載：5月号 ビジュアルボードフェア 7月12日～7月22日																									
事業の 評価	妥当性評価	行政、民間事業者、市民が協力して進めている雨水流出抑制対策において、総合排水計画の目標値の達成のためには、市が先導して推進していくべき事業です。																							
	有効性評価	雨水流出抑制対策を継続的に推進しており、着実に総合治水対策を進めることができている。また、民間事業者や市民に対してもこの取組のPRを行っています。																							
	効率性評価	行政だけでなく、民間事業者や市民に協力していただき、効率的に雨水流出抑制対策施設を整備することができています。																							
事業費	0		左の財源内訳																						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源																			
			0	0	0	0																			

160	款・項・目	8・3・3	目名称	河川改修費		目の決算額	6,981,421		160
	事務事業名称	水路整備事業							
	事業コスト(千円)	8,494	【うち人件費 4,480 うち減価償却費 3,937 】						
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	未改修及び断面不足の水路								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
	順次、計画的に整備し、断面不足等の解消が行われています。								
評価 指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	当該年度水路整備延長				16	／	16	m	
						／			
						／			
実施 内容	1 湛水防除事業 横根川排水機場（県営事業） 横根川排水機場の建替えに伴う用地買収・機上工費用の一部を負担しました。 負担金額 177,461,854円×1%＝1,774,618円								
	2 水路移設工事（上石根水路） 雨水管布設延長 VUφ450 L＝16m								
事業の 評価	妥当性評価	水路整備については、市民の生命と財産を守る上で、市が主体となり実施すべき事業です。							
	有効性評価	水路等整備を実施することで、治水安全度の向上を図ることができます。							
	効率性評価	水路整備を関連部署と連携して実施することで事業の効率化を図ります。							
事業費	6,636,532		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			0	0	0	6,636,532			

161	款・項・目	8・4・1	目名称	都市計画総務費		目の決算額	119,758,115		161
	事務事業名称	都市計画推進事業							
	事業コスト(千円)	43,935		【うち人件費 11,058		うち減価償却費 1,149		】	
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 都市計画マスタープランに基づいたまちづくりを行うことにより、いつまでも住み続けたいと実感しています。								
評価指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	都市計画の決定及び変更件数累計				20	／	17	件	
	市街化区域の面積				1,353.4	／	1,373.4	ha	
実施内容	1 都市計画審議会を開催し、用途地域、生産緑地地区、地区計画等の都市計画の決定及び変更に関する事項について調査審議するとともに、都市計画閲覧システム（GIS）のデータ変更を行いました。 (1) 都市計画の決定及び変更件数累計 20件 令和2年度：6件 令和3年度：5件 令和4年度：5件 令和5年度：1件 令和6年度：3件 (2) 生産緑地地区面積 令和2年度：17.7ha 令和3年度：16.2ha 令和4年度：16.0ha 令和5年度：13.1ha 令和6年度：12.4ha (3) 地区計画の都市計画決定面積 令和2年度：207.9ha 令和3年度：212.7ha 令和4年度：225.5ha 令和5年度：225.5ha 令和6年度：225.5ha								
	2 共和駅周辺の商業系用途地域及び準防火地域の区域変更に関する都市計画手続を行いました。 3 令和5年度に実施した航空写真撮影の成果を基に、都市計画基本図の更新・作成を行いました。 4 都市計画法第6条の規定に基づき、都市計画基礎調査（宅地開発現況）を行いました。 5 大府市空家等対策計画に基づき、空家等の対策に取り組みました。 (1) 大府市空家等対策協議会（2回）を開催し、空家等の対策について協議しました。 (2) 空家対策個別相談会（1回）を開催しました。 (3) 管理不全な空家等に起因する緊急安全措置の実施はありませんでした。 (4) 空家等対策特別措置法の規定に基づき認定した特定空家等（累計5件）について、法令に基づく行政指導を講じた結果、5件全てが認定要件を解消しました。 令和4年度：1件 令和5年度：3件 令和6年度：1件 (5) 大府市老朽空家除却費補助金の活用により、老朽化等により保安上危険となる恐れのある空家の除却を促進しました。 令和4年度：不良住宅2件、特定空家等1件 令和5年度：不良住宅4件、特定空家等1件 令和6年度：不良住宅2件 (6) 耐震基準を満たす空家の利活用を促進し、住環境の改善及び地域の活性化を図るため、大府市空家改修費補助金制度を新たに開始しましたが、補助実績はありませんでした。								
事業の評価	妥当性評価	良好な土地利用を推進していく上で、区域区分や都市施設などの都市計画決定及び変更手続は、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	将来の土地利用計画に基づき適正な土地利用が図られることは、都市計画マスタープランのまちづくり目標を達成する上で有効です。							
	効率性評価	土地所有者の協力や地域住民との合意形成を図ることで、土地利用の推進を効率的に行うことができました。							
事業費	31,606,523		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			375,000	0	0	31,231,523			

162	款・項・目	8・4・1	目名称	都市計画総務費		目の決算額	119,758,115		162
	事務事業名称	都市景観推進事業							
	事業コスト(千円)	6,932	【うち人件費 4,045 うち減価償却費 157 】						
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	市民								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 潤いのある空間づくりを行い、市民の景観に対する意識が高まっています。								
評価 指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	都市景観形成に関する検討委員会開催回数				4	／	1	回	
						／			
						／			
実施 内容	1 大府市景観計画に基づき、都市と自然の調和がとれた良好な景観形成を推進しました。								
	2 都市景観の形成に関する事項に対し、助言・指導を行うため、整備予定の公共施設及び公共サインを対象に、都市景観形成に関する検討委員会（4回）を開催しました。 (1) 公共サイン（短期整備計画） (2) 共長小学校（北館外壁改修） (3) 旧吉田保育園（公園整備） (4) 健康増進・交流拠点施設（仮称）及び共和駅東自転車駐車場								
	3 大府市景観計画に基づき、文化芸術とまちづくりが連携した取組として、「大府市まちなかアートコンテスト」を開催しました。バイオリンをイメージした6つの応募作品の中から、有識者等による審査により優秀作品に選定した1作品を立体造形化し、市道大府駅東線の歩道上に設置しました。								
事業の 評価	妥当性評価	本市の多様な景観を五感で感じられる、心身ともに健康なまちづくりを進めることは、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	大府50景を活用した事業や「大府市景観計画」に掲げる景観形成施策の実施により景観まちづくりを推進することは、本市を魅力的なまちにしていくなで有効です。							
	効率性評価	各施設等の整備計画段階から都市景観形成に関する検討委員会の意見を取り入れることで、効率的かつ計画的な景観まちづくりを推進しました。また、全国から幅広くアイデアを募集したコンテストを通じて、市道大府駅東線の景観形成を図りました。							
事業費	2,690,237		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			0	0	0	2,690,237			

163	款・項・目	8・4・2	目名称	街路事業費		目の決算額	739,811,766		163
	事務事業名称	幹線道路整備事業							
	事業コスト(千円)	69,142【うち人件費 16,790 うち減価償却費 43,357 】							
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）								
	市及び県が管理する市内の幹線道路（都市計画道路）								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
	渋滞の解消、目的地への移動時間の短縮、交通事故の防止、歩行者の安全性向上、災害時の緊急輸送路の確保、広域的な車両の流動性の向上などができています。								
評価指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	幹線道路の整備済延長の割合				31.8	／	44	%	
	歩道整備延長				160	／	390	m	
	国県への要望回数				20	／	20	回	
実施内容	1 県道横根大府線（基金10,755千円充当）								
	物件調査及び歩道設置工事（延長160m）を実施しました。								
	用地買収、物件補償を実施しました。（R5年度繰越分）								
	用地買収 3筆 78.69㎡、物件補償 2件								
	2 都市計画道路養父森岡線（基金20,020千円充当）								
	(1) 1期（東海市境～石ヶ瀬川）								
	杭打工事（4本）を実施しました。（R5年度繰越分）								
	橋台工事（1基）、道路改良工事（延長320m）を実施しました。（R7年度へ繰越し）								
	(2) 2期（石ヶ瀬川～主要地方道東浦名古屋線）								
	用地買収及び物件補償を実施しました。（R5年度繰越分）								
事業の評価	用地買収 12筆 924.96㎡、物件補償 2件								
	道路設計を実施しました。								
	道路改良工事（延長130m）を実施しました。（R7年度へ繰越し）								
	(3) 3期（主要地方道東浦名古屋線～東浦町境）								
	予備設計、路線測量、用地測量及び地質調査を実施しました。（R5年度繰越分）								
	橋梁予備設計及び地質調査を実施しました。								
	3 都市計画道路荒池長草線（共和西土地区画整理事業区域以南）（基金1,784千円充当）								
	予備設計、用地測量を実施しました。								
	4 みちづくり基金								
	基金の積立てを行うとともに、幹線道路整備等のために取り崩しました。								
事業費	739,811,766				左の財源内訳				
					国県支出金	地方債	その他	一般財源	
					46,998,300	0	138,689,066 (基金32,559,000)	554,124,400	

164	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費		目の決算額	556,885,553		164																																										
	事務事業名称	二ツ池セレクトナ運営事業																																																	
	事業コスト(千円)	36,566		【うち人件費 5,366		うち減価償却費 4,820		】																																											
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）																																																		
	市民																																																		
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 二ツ池セレクトナを利用して、大府市の自然を見て、触れて、学ぶ機会を持てるようにします。																																																		
評価指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位																																											
	二ツ池セレクトナ入場者数				43,099	／	25,000	人																																											
	セレクトナ学習室利用件数				126	／	120	件																																											
	講座参加者数				11,429	／	3,500	人																																											
実施内容	1 二ツ池セレクトナ及び二ツ池公園グラウンドの効率的な運営及び適正な維持管理 指定管理者の創意工夫とノウハウを活用して、市民が自然と触れ合い学ぶことができる学習の機会を提供するとともに、施設の効率的かつ適切な維持管理・運営を図りました。 (指定管理期間：令和4年度～令和6年度)																																																		
	2 イベントや講座などの開催 多くの市民が自然と触れ合い体験できる場として、イベントや自然観察会などの講座を実施しました。																																																		
	<table><tr><td></td><td colspan="2">R4</td><td colspan="2">R5</td><td colspan="2">R6</td></tr><tr><td>二ツ池セレクトナ入場者数</td><td colspan="2">35,508人</td><td colspan="2">37,743人</td><td colspan="2">43,099人</td></tr><tr><td>セレクトナ学習室利用件数</td><td>112件</td><td>1,670人</td><td>86件</td><td>1,548人</td><td>126件</td><td>2,806人</td></tr><tr><td>デイキャンプ利用数</td><td>58件</td><td>1,608人</td><td>51件</td><td>2,142人</td><td>53件</td><td>2,198人</td></tr><tr><td>講座参加者数</td><td>89回</td><td>5,064人</td><td>75回</td><td>8,200人</td><td>86回</td><td>11,429人</td></tr><tr><td>グラウンド利用者数</td><td>295件</td><td>6,622人</td><td>275件</td><td>6,898人</td><td>298件</td><td>5,751人</td></tr></table>										R4		R5		R6		二ツ池セレクトナ入場者数	35,508人		37,743人		43,099人		セレクトナ学習室利用件数	112件	1,670人	86件	1,548人	126件	2,806人	デイキャンプ利用数	58件	1,608人	51件	2,142人	53件	2,198人	講座参加者数	89回	5,064人	75回	8,200人	86回	11,429人	グラウンド利用者数	295件	6,622人	275件	6,898人	298件	5,751人
		R4		R5		R6																																													
	二ツ池セレクトナ入場者数	35,508人		37,743人		43,099人																																													
	セレクトナ学習室利用件数	112件	1,670人	86件	1,548人	126件	2,806人																																												
	デイキャンプ利用数	58件	1,608人	51件	2,142人	53件	2,198人																																												
	講座参加者数	89回	5,064人	75回	8,200人	86回	11,429人																																												
	グラウンド利用者数	295件	6,622人	275件	6,898人	298件	5,751人																																												
	3 情報の発信 広報おおぶ、市公式ウェブサイト、フリーペーパー、地域新聞及び公民館等へのチラシ・パンフレット配布により、積極的に情報発信を行いました。																																																		
4 施設の改修 二ツ池セレクトナの屋根防水の改修と空調設備の更新を行いました。																																																			
事業の評価	妥当性評価	水と緑に恵まれた環境の中で、市民に自然体験学習の機会を提供する施設の運営は、市が実施すべき事業です。																																																	
	有効性評価	講座参加者のアンケート結果での満足度は非常に高く、事業の効果は上がっています。																																																	
	効率性評価	施設の運営に指定管理者制度を導入したことで、様々な工夫により学習室などの利用者数が大きく増加し、効果的な施設運営を効率的に行うことができています。																																																	
事業費	69,533,675		左の財源内訳																																																
			国県支出金	地方債	その他	一般財源																																													
			0	0	0	69,533,675																																													

165	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費		目の決算額	556,885,553		165
	事務事業名称	公園整備事業							
	事業コスト(千円)	57,467【うち人件費 9,245 うち減価償却費 44,385 】							
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	市民								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 憩いの場となる公園を整備することで、安全で快適な時間を過ごしています。								
評価 指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	都市公園面積				99.4	／	99.6	ha	
						／			
						／			
実施 内容	1 ニツ池公園里山林整備事業								
	(1) 設計委託								
	・ニツ池公園と隣接する用地にて、既存の公園と一体となった自然豊かな里山林として整備することを目的に設計業務を行いました。								
	(2) 建築物解体工事及び土地購入								
	・ニツ池公園に隣接する用地（1.2ha）を買収するとともに、当該用地内にある建築物の解体を行いました。								
	2 横根平子2号公園整備設計委託								
・横根平子2号公園整備のための設計業務を行いました。									
・近隣住民等により構成されたワークショップ形式にて計画を定めました。									
3 旧吉田保育園跡地公園整備工事									
・旧吉田保育園跡地を活用して「吉田園址さくら公園」を整備しました。									
4 公園遊具設置工事									
・六果園公園内にブランコを新設しました。									
5 北崎大池北東駐車場整備事業									
・北崎大池北東駐車場を整備するための用地測量及び買収、樹木伐採を行いました。									
事業の 評価	妥当性評価	快適で便利な暮らしの基盤づくりとして、市民の憩いの場である公園を整備することは、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	公園や親水空間の整備内容について、住民参加のワークショップ形式によって計画づくりをすることにより、周辺住民の意見調整が行われました。							
	効率性評価	地元住民の十分な理解と協力のもと、事業が効率的に進められ良好で魅力的な住環境を整備することができます。							
事業費	199,091,659		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			16,000,000	29,000,000	14,713,578	139,378,081			

166	款・項・目	8・4・4	目名称	公園事業費		目の決算額	556,885,553		166
	事務事業名称	公園等施設管理事業							
	事業コスト(千円)	348,595		【うち人件費 10,080		うち減価償却費 146,664		】	
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 公園施設を適切に維持管理することで身近に緑が感じられ、安全で快適に過ごすことができる空間として、市民の満足度が向上しています。								
評価指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	公園管理面積				98.9	／	99.3	ha	
						／			
						／			
実施内容	1 公園の適切な維持管理 (1) ごみ拾い、トイレ清掃、除草などを実施しました。（環境維持） (2) 公園遊具の保守点検を実施しました。（安全性の確保） (3) 水景施設の保守点検を実施しました。（安定稼働の確保） (4) 公園施設や遊具の修繕を実施しました。（適切な維持管理） ア 四阿支柱取替（宮前公園ほか） イ 公園照明灯建替（三ツ池公園ほか） ウ 外周フェンス改修（追分公園）								
	2 公園施設長寿命化対策工事（社会資本整備総合交付金） 公園施設長寿命化計画に基づき施設の改修を実施しました。 (1) 深廻間公園 遊具更新4基 (2) 桐山公園 遊具更新5基 (3) 羽根山公園 遊具更新1基								
事業の評価	妥当性評価	市民の憩いの場である公園について、公園施設等の状況を正確に把握し、日常管理や修繕等を行うことは、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	定期的に公園の維持管理を行うとともに、市民の要望等に対して迅速に対応することにより、安全で安心して利用できる市民の憩いの場を提供することができました。							
事業費	効率性評価	職員や委託業者による巡回や遊具点検の他、市民団体などからの報告によって、施設の劣化状況を正確に把握することにより、効率的に修繕を実施しました。							
	240,157,643		左の財源内訳						
国県支出金			地方債	その他	一般財源				
15,000,000			0	8,172,312	216,985,331				

167	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費		目の決算額	226,533,984		167
	事務事業名称	緑化推進事業							
	事業コスト(千円)	19,487							

168	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費		目の決算額	226,533,984		168
	事務事業名称	緑道整備事業							
	事業コスト(千円)	20,457	【うち人件費 3,227		うち減価償却費 17,104		】		
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	市民								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 歩行者などが安全に緑を感じながら移動することができています。								
評価 指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	緑道延長				20,781	／	20,565	m	
						／			
						／			
実施 内容	河川緑道調査測量設計委託 大府高校第2グラウンド沿いの二級河川鞍流瀬川及び石ヶ瀬川の河川管理用道路を活用し、緑道整備 工事を行うための設計委託を行いました。 鞍流瀬川・石ヶ瀬川（L＝400m）								
事業の 評価	妥当性評価	河川管理用道路において、市民が水と緑に親しみながら安全に散策できる緑道を整備する ことは、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	緑道を整備することにより、安全に散策できる歩道ネットワークの形成を図ることが できました。							
	効率性評価	河川用地を活用することにより、新たに用地を取得することなく、効率的に緑道を整備 することができました。							
事業費	13,980,000		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			0	0	5,180,000	8,800,000			

169	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費		目の決算額	226,533,984		169
	事務事業名称	市民緑化推進事業							
	事業コスト(千円)	9,018【うち人件費 4,981 うち減価償却費 196 】							
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	市民								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 多くの市民が緑の保全及び緑化推進の取組に参加することで、緑や花に親しみと充実感を得ています。								
評価 指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	民有地緑化制度を活用した植栽本数				2,138	／	2,000	本	
						／			
						／			
実施 内容	市民との協働による緑と花のあふれるまちづくりを推進するため、大府市緑化基金を活用して、各種事業を実施しました。								
	1 提案型緑花推進事業 市民団体などが提案する緑花事業計画に基づく緑化事業 R4年度から各部門を設けて実施しました。 R4：10団体（上級3団体、中級4団体、はじめの一步3団体） R5：10団体（上級3団体、中級5団体、はじめの一步2団体） R6：8団体（上級3団体、中級5団体）								
	2 民有地緑化制度等を活用した植栽 (1) 民有地緑化制度(あいち森と緑づくり事業)を活用した植栽 R4：1,881本 R5：3,649本 R6：1,656本 (2) 民有地緑化のため入学や新築など10項目の記念樹や信託木を配布する事業 R4：294本 R5：538本 R6：482本								
	3 学校シンボルツリー・シンボルフラワー事業 市内全小中学校の児童生徒に、緑の大切さや学校への愛着心を育んでもらうための学校緑化を行いました。								
	4 シビックガーデンコンテスト事業 緑と花にあふれるまちづくりを啓発するため、緑化コンクールを開催しました。 R4：29件 R5：22件 R6：26件								
	5 市民の森づくり事業 市民の森実行委員会及び二ツ池セレクトナと連携して、二ツ池公園の緑の保全を行いました。								
	6 緑のまちづくり事業 公園緑地などに設置の花壇や緑地などを市民と協働で管理し、潤いと安らぎの空間を提供しました。								
事業の 評価	妥当性評価	市民との協働による緑あふれるまちづくりを進めるため、市民団体等の緑化推進に関する取組を幅広く支援することは、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	市民団体等の取組に対し、効果的に支援することにより、緑化に関する意識を多くの市民や地域に浸透させることができました。							
	効率性評価	緑化基金を活用し、市民との協働により、効果的に緑化推進事業を実施することができました。							
事業費	4,214,180		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			0	0	4,128,514 (基金4,000,000)	85,666			

170	款・項・目	8・4・5	目名称	緑化推進事業費		目の決算額	226,533,984		170
	事務事業名称	緑花維持管理事業							
	事業コスト(千円)	203,327		【うち人件費 4,931		うち減価償却費 7,382		】	
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市民								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 緑地等の適切な維持管理を行い、身近に緑が感じられる空間として、安全で快適に過ごすことができることにより、緑化などに対する市民の満足度が向上しています。								
評価指標	指標名			令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位		
	竹林の保全箇所数			1	／	1	箇所		
	アサギマダラの飛来数			14	／	14	頭		
					／				
実施内容	1 緑地等の維持管理 公園、緑地、緑道などを適切に維持管理し、良好な状態に保ちました。 (1) 公園、緑地、緑道の草刈り・清掃等を実施しました。 (2) 街路樹、公園、緑地等へサクラ、ツツジ等の補植をしました。								
	2 桃山地区桜保全事業 桃山地区の桜保全のため、平成29年度に実施した桜の診断結果を踏まえ、枯枝撤去や薬剤注入、防腐剤塗布など樹木の保全を行いました。								
	3 フジバカマ植栽（二ツ池公園） 市民パートナーシップによりフジバカマの花壇を手入れすることで、アサギマダラが飛来しました。								
	4 桜守養成講座 桜の維持管理について、市民団体と協働で進めていくことにあたり、維持管理のノウハウを学ぶための桜守養成講座を3回実施しました。								
	5 竹林の小径（こみち）の維持管理 矢戸川緑道に隣接する竹林の小径の維持管理を事業提示型協働事業の団体と協働して行いました。								
事業の評価	妥当性評価	緑化した市有地を維持管理することは、地域の意見を聴きながら協働で実施すべき事業です。							
	有効性評価	市民と協働で推進することにより、市民の緑化意識の醸成や市民参加による緑のまちづくりの推進を図ることができました。							
	効率性評価	市民との協働により、効果の高い緑花推進事業を効率的に実施することができました。							
事業費	191,136,954		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			9,337,900	0	0	181,799,054			

171	款・項・目	8・4・6	目名称	土地区画整理事業費		目の決算額	471,620,703		171
	事務事業名称	土地区画整理事業							
	事業コスト(千円)	491,043		【うち人件費 18,520		うち減価償却費 718		】	
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）								
	現在施行中の土地区画整理組合								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
	円滑で健全な組合運営がなされ、事業計画に定めるとおり事業が完了しています。								
評価 指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位	
	北山地区・横根平子地区の土地区画整理事業の整備率				62.9	／	77.5	%	
	北山地区・横根平子地区の人口達成率				2.0	／	6.3	%	
実施 内容	土地区画整理事業の事業主体である組合に対し、事業計画に基づき、事業が円滑かつ健全に運営されるよう、指導や補助金の交付を行いました。								
	(1) 大府横根平子地区【施行期間：平成28～令和11年度、面積：9.0ha、事業進捗率：83.3%】								
	土地区画整理事業補助金 当初予算額 320,000,000円（R7年度全額繰越）								
	※R5年度繰越 128,520,000円								
	実施内容：調査・測量、設計、造成工事、道路・水路・擁壁築造工事等								
	(2) 大府北山地区【施行期間：平成30～令和10年度、面積：23.7ha、事業進捗率：42.5%】								
	土地区画整理事業補助金（都市再生区画整理事業費補助金：国1/3、市2/3）								
	当初予算額 300,000,000円								
	減額補正 70,200,000円								
	補正後予算額 229,800,000円								
33,327,000円（当年執行額）									
196,473,000円（R7年度繰越）									
※R5年度繰越 171,000,000円									
国庫補助金（市負担分）（社会資本整備総合交付金：国1/2、県1/4、市1/4）									
当初予算額 100,000,000円									
増額補正 38,700,000円									
補正後予算額 138,700,000円									
138,700,000円（当年執行額）									
実施内容：調査・測量、設計、造成工事、道路・水路築造工事、污水管・配水管築造工事等									
事業の 評価	妥当性評価	住環境の整備を推進する事業であり、組合の円滑で健全な運営を支援することは、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	優良宅地造成とともに、道路、緑地等を整備することにより、良好な住環境の実現に向けて着実に効果が上がりました。							
	効率性評価	市と組合が一体となって整備を進め、効率的にまちづくりを推進していくことができました。							
事業費	471,620,703		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			68,109,000	146,900,000	115,520,000	141,091,703			

172	款・項・目	8・4・7	目名称	建築開発費		目の決算額	11, 145, 237		172	
	事務事業名称	宅地開発指導事業								
	事業コスト(千円)	22, 979		【うち人件費 21, 039		うち減価償却費 815		】		
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）									
	事業者及び工事施行者等									
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）									
評価指標	一定の基準をもって適正に指導するとともに、応分の負担を要請することにより、公共施設等及び良好な住環境の整備が行われています。									
	指標名			令和6年度実績値		／	令和6年度計画値		単位	
	開発等事業の手続件数			33		／	30		件	
実施内容	事前協議申請件数			14		／	20		件	
	1 建築、開発行政の事務									
	限定特定行政庁、事務処理市として建築確認や都市計画法等の審査を行うとともに、市民相談への速やかな対応・体制をつくりました。									
実施内容	(1) 申請等実績									
			R4		R5		R6			
	確認申請	四号建築物		2件		1件		3件		
		工作物		0件		0件		0件		
	都市計画法許可		91件		112件		89件			
	宅地造成等規制法許可		25件		25件		32件			
	開発等事業の手続件数		40件		33件		33件			
	事前協議（条例手続）		19件		25件		14件			
	宅地開発行為等調整会議		0回		1回		0回			
	建設リサイクル法届出		171件		189件		169件			
	省エネ法届出		0件		3件		1件			
	地区計画区域内整備計画届出		42件		40件		72件			
	優良宅地認定		0件		0件		0件			
	長期優良住宅認定		143件		168件		206件			
	低炭素建築物認定		12件		6件		2件			
	研修会、協議会等出席		18回		20回		23回			
	実施内容	(2) 監視等実績								
				R4		R5		R6		
	実施内容	パトロール（建築物、造成工事、リサイクル）		7回		5回		8回		
		2 大規模盛土造成地変動予測第二次スクリーニング								
事業の評価	共和町茶屋及び若草町四丁目の2か所において調査を実施した結果、いずれの盛土造成地においても、安定性を確認しました。									
	妥当性評価	建築や開発行為に対する指導・監督という観点から市が実施すべき事業です。								
	有効性評価	宅地開発等を行う者に対して、一定の基準を持って指導することは、公共公益施設及び良好な住環境の整備促進に有効です。								
事業費	効率性評価	関係各課への回覧を電子化し審査の効率化を図ることで審査期間の短縮に努めました。								
	11, 145, 237	左の財源内訳								
		国県支出金	地方債		その他		一般財源			
事業費	11, 145, 237	3, 435, 220		0		0		7, 710, 017		

173	款・項・目	8・4・8	目名称	中心市街地整備費		目の決算額	55,998,925		173		
	事務事業名称	中心市街地整備事業									
	事業コスト(千円)	27,747	【うち人件費 14,596 うち減価償却費 634 】								
事業の 目的	対象（何を、誰を対象として）										
	市民、駅利用者										
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）										
利用者及び地域の人たちが訪れたいと実感しています。											
評価 指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位			
	駅周辺まちづくり検討会議等の開催回数				8	／	8	回			
						／					
						／					
実施 内容	1 大府駅周辺のまちづくり										
	(1) 大府駅周辺まちづくり地域座談会等の開催										
	大府駅周辺のまちづくりを検討するため、地権者や地元商業者等とまちづくりの方向性などについて気軽に話し合う場を設け、合計4回の意見交換を行いました。										
	(2) 大府駅東自転車駐車場整備工事										
	令和4年8月にJR東海と交換取得した用地において、自転車駐車場の整備として屋根の設置や舗装などを行い、50台が収容できる自転車駐車場を拡張しました。										
	2 共和駅周辺まちづくり										
	(1) 共和駅周辺まちづくり委員会の開催										
	ア 委員会を4回開催し、地域と連携した駅周辺の取組について検討しました。										
	イ 地域や地元企業と連携して、共和夢通り（市道大府共和線）の清掃活動を12月に実施しました。										
	ウ 地域と連携して、「共和の金ちゃん朝市」の開催支援を行いました。										
事業の 評価	妥当性評価		まちづくりを進めるうえで、地域住民、事業者、市が一体となって協力していくことが重要です。そのまとめ役として市が先導していくことが必要であるため、市が実施する事業です。								
	有効性評価		共和駅周辺まちづくり委員会では、各イベントの準備や運営など地域の皆様と一緒に進めています。このような会議や委員会など、地域で活動される方々との繋がりは、まちづくりに必要な人材の確保や育成に有効です。								
	効率性評価		事業者へのヒアリングなど職員でできるものと、概略設計などの専門的な作業を住み分けし、経費の削減に取り組むことができました。								
	事業費	55,994,315		左の財源内訳							
				国県支出金		地方債		その他		一般財源	
				0		0		0		55,994,315	

174	款・項・目	8・5・1	目名称	住宅管理費		目の決算額	148,282,691		174																											
	事務事業名称	市営住宅管理・整備事業																																		
	事業コスト(千円)	137,900		【うち人件費 10,534		うち減価償却費 73,421		】																												
事業の目的	対象（何を、誰を対象として） 市営住宅																																			
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか） 高齢者・障がい者等に配慮した、利用しやすく良好な魅力ある市営住宅の改善を行い、適切に管理されています。																																			
評価指標	指標名				令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位																												
	入居募集戸数				13	／	10	戸																												
	建築物保全に関する住宅工事・修繕件数				74	／	80	件																												
						／																														
実施内容	市営住宅管理戸数292戸（うち特定公共賃貸住宅10戸）																																			
	1 施設改修工事																																			
	(1) 殿ノ前住宅2号棟屋上防水・外壁改修工事																																			
	(2) 殿ノ前住宅3号棟・4号棟水道メーター更新工事（集中検針盤更新含む）																																			
	2 施設維持管理委託																																			
	消防設備点検、浄化槽保守点検、エレベーター保守点検、排水管清掃、遊具点検、 樹木せん定・除草、給水設備保守点検等																																			
	3 施設整備修繕																																			
	給水装置等修繕、施設・設備老朽化による修繕(74件)、退去修繕(13戸)、退去修繕に合わせて 住戸内バリアフリー化(3戸)																																			
	4 市営住宅空家入居募集																																			
	<table><tr><td></td><td>R1</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td><td>R6</td></tr><tr><td>募集回数</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td><td>2回</td></tr><tr><td>募集戸数</td><td>11戸(14戸)</td><td>9戸(11戸)</td><td>11戸(13戸)</td><td>9戸(11戸)</td><td>10戸(13戸)</td><td>10戸(13戸)</td></tr><tr><td>応募者数</td><td>19人(27人)</td><td>23人(36人)</td><td>14人(21人)</td><td>12人(18人)</td><td>26人(35人)</td><td>26人(37人)</td></tr></table>										R1	R2	R3	R4	R5	R6	募集回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回	募集戸数	11戸(14戸)	9戸(11戸)	11戸(13戸)	9戸(11戸)	10戸(13戸)	10戸(13戸)	応募者数	19人(27人)	23人(36人)	14人(21人)	12人(18人)	26人(35人)
	R1	R2	R3	R4	R5	R6																														
募集回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回																														
募集戸数	11戸(14戸)	9戸(11戸)	11戸(13戸)	9戸(11戸)	10戸(13戸)	10戸(13戸)																														
応募者数	19人(27人)	23人(36人)	14人(21人)	12人(18人)	26人(35人)	26人(37人)																														
※カッコ内は福祉枠を含む																																				
5 その他																																				
家賃口座振替（継続）R1：180戸 R2：179戸 R3：199戸 R4：191戸 R5：193戸 R6：195戸																																				
住宅相談対応（公営住宅入居希望等相談、入居者の要望・苦情等）																																				
大府市有害鳥獣防除網等設置補助制度の創設																																				
事業の評価	妥当性評価	公営住宅法の定めにより、市営住宅の整備及び管理については、市が実施すべき事業です。																																		
	有効性評価	修繕を始めとした入居者からの要望等に対して迅速な対応を心掛け、適正に管理したことにより、良好な住環境の形成に寄与することができました。また、空室解消に向け、入居者資格の拡充等必要な準備を進めました。																																		
	効率性評価	掲示板等を活用して保守点検の日程等を入居者に迅速に周知することで、管理業務の委託や修繕、工事を効率的に実施することができました。																																		
事業費	100,322,175		左の財源内訳																																	
			国県支出金	地方債	その他	一般財源																														
			17,740,000	0	51,059,775	31,522,400																														

175	款・項・目	8・5・2	目名称	住生活費		目の決算額	19,287,540		175
	事務事業名称	災害に強い住宅建設推進事業							
	事業コスト(千円)	31,921【うち人件費 12,047 うち減価償却費 467 】							
事業の目的	対象（何を、誰を対象として）								
	特に地震に不安のある民間住宅								
	目指す成果（対象をどのようにしたいのか）								
	地震に強い住宅への改善が行われ、災害に強い安全な住宅地が形成されています。								
評価指標	指標名					令和6年度実績値	／	令和6年度計画値	単位
	耐震診断実施件数					47	／	40	件
	耐震改修工事実施件数					9	／	15	件
							／		
実施内容	1 「大府市建築物耐震改修促進計画」に基づき建築物の耐震化を促進しました。								
	(1) 民間木造住宅								
	ア 無料耐震診断及び耐震改修費補助の実績（1.5、1.0、0.7は耐震診断の判定値）								
	年度	診断 件数	安全 1.5以上	一応安全 1.0以上 1.5未満	やや危険 0.7以上 1.0未満	倒壊の 危険あり 0.7未満	改修費 補助 件数	うち上乗せ 補助件数 高齢者 市内業者	
	～R3	1,513	10	98	272	1,133	340	96	59
	R4	25	0	0	0	25	3	1	2
	R5	16	0	0	0	16	4	1	3
	R6	47	0	1	0	46	9	3	7
	合計	1,601	10	99	272	1,220	356	101	71
	割合	—	0.6%	6.2%	17.0%	76.2%	—	—	
	イ 段階改修及び耐震シェルター補助の実績 段階改修補助：0件 耐震シェルター補助：1件								
	(2) 民間非木造住宅 耐震診断費補助：0件 耐震改修費補助：0件								
	(3) 広報やローラー作戦による耐震診断、改修案内の実施								
		R4		R5		R6			
	広報掲載回数	1回		1回		1回			
	ローラー作戦	大府自治区地内等 (164戸)		共和東自治区地内等 (143戸)		石ヶ瀬自治区地内等 (95戸)			
	無料相談会	1回(1組)		1回(2組)		1回(6組)			
	(4) ブロック塀等 除却費等補助：7件								
	(5) 耐震性のない木造住宅解体 解体費補助：8件（市内業者利用：3件）								
	(6) 耐風性のない住宅 耐風診断補助：1件 耐風改修補助：1件（市内業者利用：1件）								
	(7) 研修会参加等による体制づくり 研修会等：1回								
2 「大府市住生活基本計画」に基づき、三世代住宅の工事費に対して補助を行いました。									
三世代住宅支援事業費補助 交付申請：5件（市内業者利用：1件） 認定申請：6件									
事業の評価	妥当性評価	建築物の耐震改修の促進に関する法律により、各公共団体が計画的に耐震化を進める必要があると定められており、市が実施すべき事業です。							
	有効性評価	木造住宅の無料耐震診断や耐震改修費補助を実施することにより、既存住宅を安心して安全に有効利用できるようになりました。							
	効率性評価	ローラー作戦等を効率的に実施することができました。地元建築士の協力を要請することにより、無料相談会を開催できました。							
事業費	19,287,540		左の財源内訳						
			国県支出金	地方債	その他	一般財源			
			11,041,600	0	0	8,245,940			